再評価結果（平成１７年度事業継続箇所）

担　当　課：中国地方整備局都市・住宅整備課
担当課長名：石﨑　隆弘

事業名	生坂二日市線（いくさかふつかいちせん）	事業区分	街　路	事業主体	倉敷市
起終点	自：岡山県倉敷市生坂（くらしき　いくさか） 至：岡山県倉敷市二日市（くらしき　ふつかいち）			延長	１．４km

事業概要

生坂二日市線は倉敷市街地の環状道路の一部を構成し、ＪＲ山陽本線との立体交差を含む延長１．４ｋｍの４車線道路である。

Ｈ６年度事業化	Ｓ３６年度都市計画決定 （Ｈ６年度変更）	Ｈ６年度用地着手	Ｈ９年度工事着手

全体事業費	約９６億円	事業進捗率	６６％	供用済延長	０．７km
計画交通量	２１，８００台／日				

費用便益分析結果	Ｂ／Ｃ	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) 4.6 (残事業) 5.1	83/105億円 事業費：82/104億円 維持管理費：1/1億円	427/482億円 走行時間短縮便益：383/436 億円 走行費用減少便益：37/39 億円 交通事故減少便益：7/7 億円	平成１６年

事業の効果等

・個性ある地域の形成（ＪＲ山陽本線により一体的発展が阻害されている地域を解消）
・都市の再生（倉敷市街地の外環状道路を形成する）　　他１３項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見

倉敷市街地環状線の一部である本路線は鉄道と立体交差させることにより、市街地中心部へ連絡する道路とのリンクが可能となり市街地及びその周辺部での円滑な交通を図るために重要な路線である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

特になし

事業の進捗状況、残事業の内容等

路線の南側６８８ｍについては供用を開始しており、残りの北側７００ｍについても一部地権者の相続問題で買収に期間を要したが用地は平成１２年度までにすべて確保しており、残事業としてはＪＲ立体交差を含む道路改良工事及び舗装工事である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

ＪＲ立体交差部の施行において、ＪＲ西日本との工法検討、協議及び立体交差工事（工事委託）に期間を要したが、今後もＪＲ西日本と協力して工事の早期完成を目指す。

施設の構造や工法の変更等

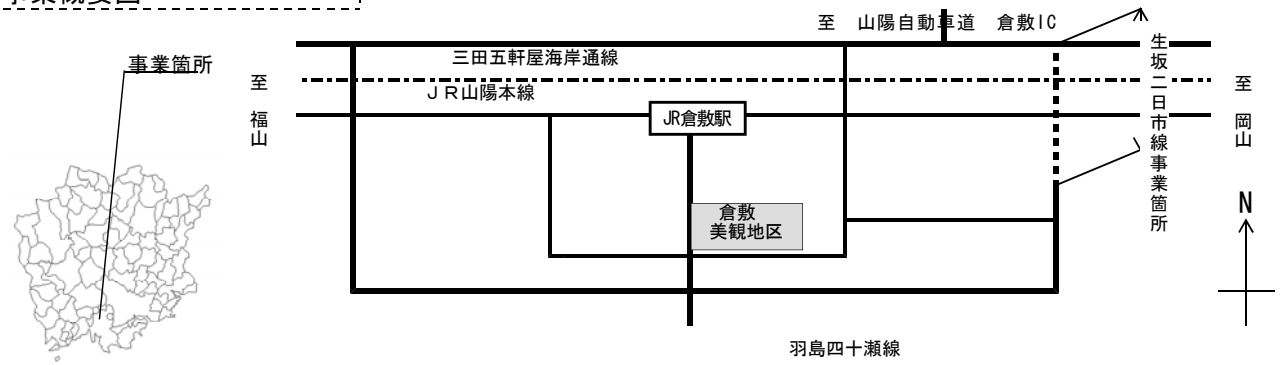
特になし

対応方針	事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。